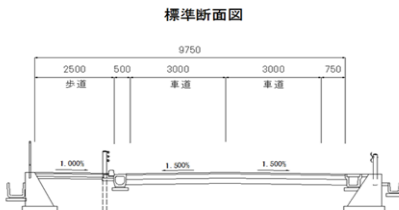


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：島原振興局道路第一課
担当課長名：中ノ瀬 聡

事業名	一般国道389号（国見拡幅）			事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県雲仙市国見町 至：長崎県雲仙市国見町					延長	2.80km
事業概要	一般国道389号「国見拡幅」は、地区内の交通隘路の解消及び雲仙方面へのアクセス強化を目的とした事業。						
H25年度事業化		都市計画決定 なし		H25年度用地着手		H27年度工事着手	
全体事業費		26.9億	事業進捗率		71%	供用済延長	1.09km
計画交通量		3,025台/日（R22）					
費用対効果 分析結果	B/C （事業全体）	1.11	総費用（残事業）/（事業全体） 5.9/31.4億円		総便益（残事業）/（事業全体） 34.7/34.7億円		基準年 令和6年
	（残事業）	5.92	〔事業費：5.2/30.7億円 維持管理費：0.7/0.7億円〕		〔走行時間短縮便益：33.4/33.4億円 走行費用減少便益：1.3/1.3億円 交通事故減少便益：0.0/0.0億円〕		
感度分析の結果		残事業について感度分析を実施					
【全体事業】		交通量変動：B/C=1.00～1.22（交通量 ±10%）		【残事業】		B/C=5.33～6.52（交通量 ±10%）	
		事業費変動：B/C=1.09～1.13（事業費 ±10%）				B/C=5.44～6.49（事業費 ±10%）	
		事業期間変動：B/C=1.06～1.16（事業期間±1年）				B/C=5.68～6.14（事業期間±1年）	
事業の効果等		・交通隘路の解消による地域内交通の円滑化。 ・交通安全性の向上（歩道整備による歩行者及び自転車の安全性確保）					
関係する地方公共団体等の意見		雲仙市、島原半島幹線道路網建設促進期成会より整備促進の要望が行われている。					
事業再評価監視委員会の意見		事業継続（令和元年）					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等		特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等		令和5年度末までの事業進捗率は71%で、用地進捗率は72%と進捗しており、今後も工事を継続して行い、令和10年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		NTT光ケーブル（埋設）の移設工事及び、用地交渉における補償内容の協議に期間を要しているが、関係者との調整を綿密に行い、令和10年度の完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等		—					
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由		事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。					
事業概要図		位置図  標準断面図  国見拡幅 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建－7 道路改築事業
一般国道389号
(国見拡幅)

事業主体 長崎県

再評価
の理由 再評価後5年経過



1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (H24新規)	－	H25	H31	18.0	1.19	【工事概要】 延長2.8km 幅員6.0(9.75)m
第1回審議 (H31年度)	事業採択後 6～9年経過	H25	R7	25.3	1.17	【当初評価からの変更概要】 ・ 工事内容見直し及び補償内容の 見直しによる工期延長 ・ 補償内容の見直し及び工事内容 の見直しによる事業費増額
第2回審議 (R6年度)	再評価後 5年経過	H25	R10	26.9	1.11	【前回評価からの変更概要】 ・ NTT埋設管の移設箇所の追加及 び、用地交渉の補償内容の協議 による工期延期 ・ 労務・資材単価等の上昇による 事業費増額

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

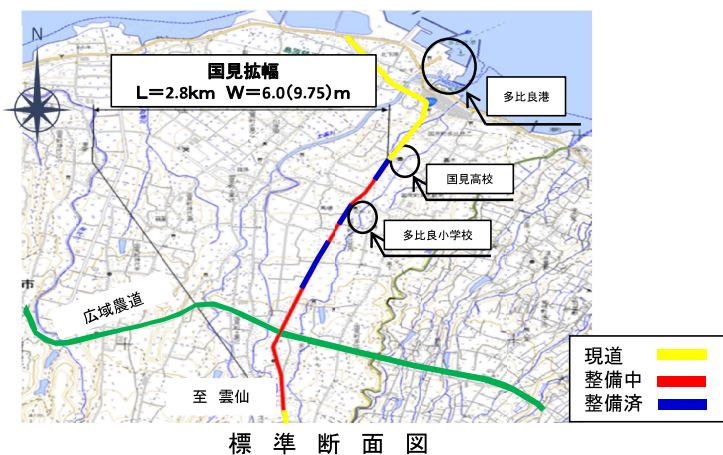
一般国道389号「国見拡幅」は、地区内の交通隘路の解消及び雲仙方面へのアクセス強化を目的としている。

◆事業概要

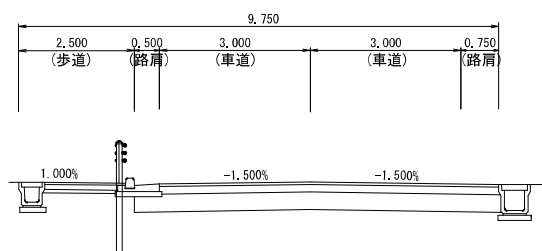
計画延長等	L=2.80km
幅員	W=6.0(9.75)m
計画交通量(R22)	3,025台

▼事業経過

平成25年度	事業化
平成27年度	用地買収着手 工事着手
令和5年度末時点	1,090m供用開始 (ボックスカルバート敷設除く)



標準断面図



令和6年3月末現在
事業進捗率 71%(工事費ベース)
用地進捗率 72%(面積ベース)

3

3. 事業の効果・必要性

国見拡幅 延長2.8km



<歩行者の安全確保>

通学路点検の要対策箇所に選定されているが、歩道が整備されておらず、歩行者の安全が確保されていない状況。

<観光地へのアクセス強化>

交通隘路の解消により走行性を改善し、県内有数の観光地である雲仙へのアクセス強化が期待される。

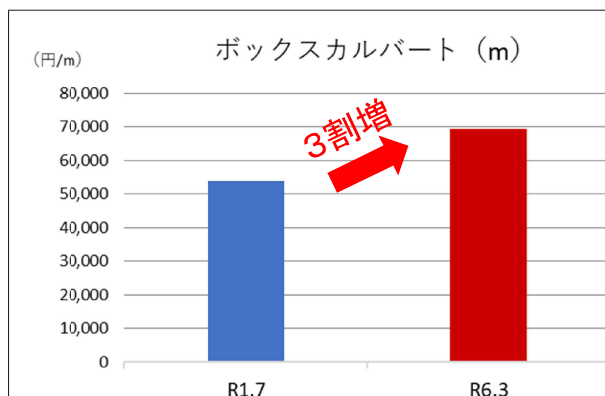
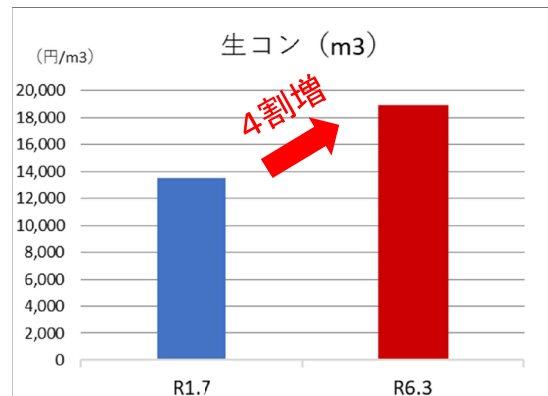
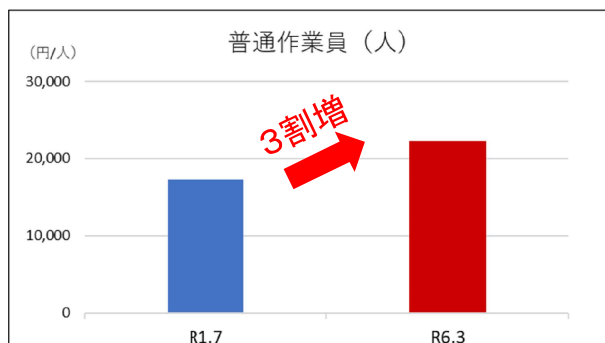
現道
整備中
整備済

写真② 小学生通学状況

4

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
資材・労務費の単価上昇	約1.6億円	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など(R1⇒R6増額分)



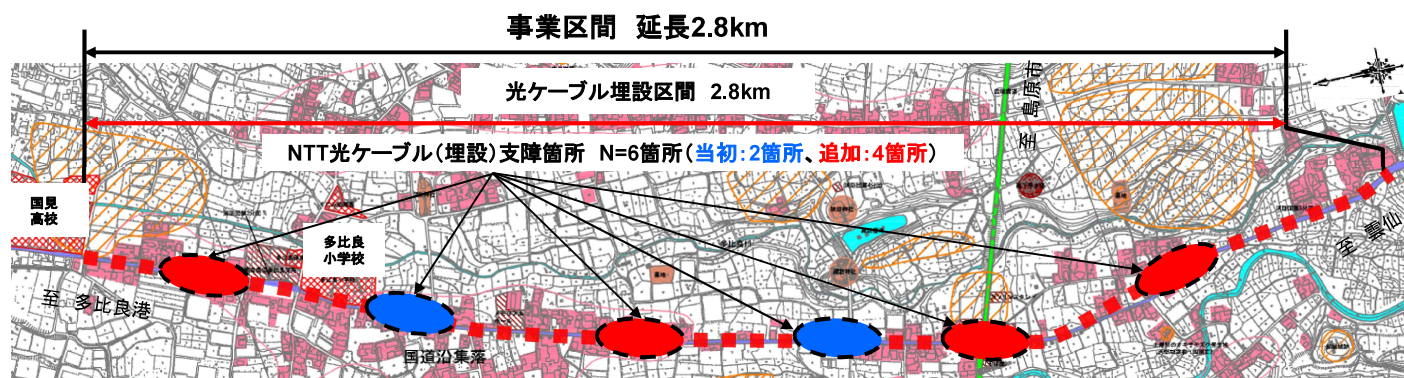
その他、労務費などの増額分を計上する。

5

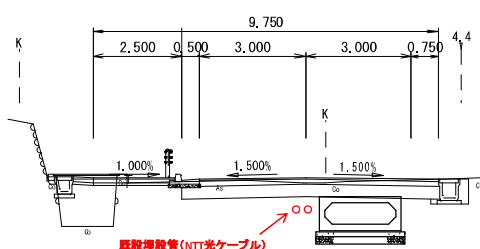
5. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R7(前回)→R10(今回)

- ・NTTの試掘調査の結果により、光ケーブル(埋設)移設工事箇所が追加となったことによる延期
- ・用地交渉における補償内容の協議による延期



標準断面図



工程

	(前回)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
地元調整																	
測量・設計																	
用地交渉																	
光ケーブル移設																	
工事																	

	(今回)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
地元調整																	
測量・設計																	
用地交渉																	
光ケーブル移設																	
工事																	

6

6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (平成31年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	1.60 = 31.1億円／19.4億円	5.92 = 34.7億円／5.86億円
全事業	1.17 = 31.1億円／26.6億円	1.11 = 34.7億円／31.4億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・工期の延長

◆ B/Cでは計測できない効果

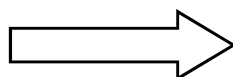
- ・緊急輸送道路の防災機能強化

7

7. 対応方針(原案)

- ◆ 生活道路としての沿道環境改善により、地域の安全を確保し、交通の円滑化、さらに島原半島の観光に寄与する事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで 71.3 %〔19.2億円/26.9億円〕であり、用地進捗率は面積ベース 72.0 %となっている。(令和6年3月末現在)
- ◆ 雲仙市、島原半島幹線道路網建設促進期成会から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

対応方針
(原案)



継続

8